

総務文教常任委員会資料

平成29年3月2日

教育委員会教育総務課

目 次

- 1 加東市東条地域小中一貫校建設の
設計方針及び通学の基本方針等について・・・ P 1
- 2 東条中学校地すべり調査の概要について・・・・・・ 別冊

加東市東条地域小中一貫校建設の設計方針

①加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校

- ・ 4・3・2制の学習に適した教室配置をするなど、前期・中期・後期の区分に即した系統的な指導ができる施設
- ・ 児童・生徒の発達段階に対応した施設
- ・ ICT機器が手軽に活用できるなど、教職員が円滑に職務を遂行できる施設
- ・ 日常的に集会や発表会ができるなど、多様な異学年交流ができる施設
- ・ 豊富に掲示や展示ができるなど、地域の文化及び自然並びに異文化が体験的に学べる施設
- ・ 各フロアに図書コーナーを設けるなど、児童・生徒が主体的に学習できる施設

②安全・安心な学校

- ・ 水害、地震、火災など、災害に強い安全で、避難所機能を備えた施設
- ・ 職員室から死角が少ないなど、児童・生徒の活動が把握できる施設
- ・ ユニバーサルデザインの誰もが安心して使える施設
- ・ 防犯設備の整った施設
- ・ 歩行者、自転車、車、通学バスの安全通行に配慮した施設

③快適でゆとりのある学校

- ・ ゆとりがあり、木のあたたかみやぬくもりを感じる施設
- ・ 明るく、風通しがよいなど、児童・生徒が快適に生活できる施設
- ・ 動線に無駄がないなど、移動に時間と手間がかからない施設
- ・ 清潔感を維持できる施設

④地域に根ざした学校

- ・ 自然と共生でき、周辺の環境と調和のとれた施設
- ・ 地域交流が促進できるなど、保護者や地域住民と連携を深められる施設
- ・ 児童・生徒、教職員及び地域住民が誇りに思える施設
- ・ 文教ゾーンのシンボルとなる施設
- ・ 周辺の住環境に配慮した施設

⑤管理しやすく、長く使える学校

- ・ 環境にやさしく、将来にわたって長く使える施設
- ・ 維持・管理、修繕等の対応に配慮した美しい施設
- ・ 十分な収納スペース、用途に合った会議室等を配置するなど、使い勝手のよい施設

通学の基本方針・通学方法とスクールバスの運行

①通学の基本方針について

- ・地域で子どもたちの顔が見えること。
 - ・行程の安全・安心を図ること。
 - ・地域の協力が得られること。
- ※異学年の集団通学の教育的意義を考慮

②通学方法について

小学生

- ・小中一貫校を中心に、半径3km未満に地区公民館がある地区の小学生は徒歩通学とし、3km以上はスクールバス利用を原則とする。
- ※下校時のスクールバス運行＝アフタースクールの参加児童数を考慮

中学生

- ・現状どおり自転車通学を原則とする。

今後のスケジュール

		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	
東条地域小中一貫校開校準備委員会	施設整備委員会	基本方針案の検討	基本設計案の検討	実施設計案の報告				
	学校運営委員会	通学関係(通学路、通学手段)の検討	通学路及び見守り隊活動の調整	校名の検討	校則の検討	標準服等の検討	校章の検討	校歌の検討
						PTA等学校関係団体組織の検討	開校記念式典計画・調整	通学路の最終調整
	学校教育委員会	教育内容、教育課程等の検討	小小連携・小中連携の計画・調整	校訓、めざす児童・生徒像、教育目標の検討	学校行事の計画	生徒指導・支援方針の策定	特別支援教育の計画	校務分掌の検討
市教委 学校 研究所員会	基本方針	基本設計	実施設計	建設工事			(開校準備)	
	教科カリキュラム等検討・作成							
	小小・小中交流活動の計画的実施							
	中 → 小 出前授業	中 ←→ 小 出前授業	相互乗り入れ授業の試行					
	小中一貫教育試行(施設分離型)							
	ふるさと学習「かとう学(仮称)」副読本の内容検討							
			小中一貫校教員配置計画					
							東条地域小中一貫校開校	